



## 笑顔を引き出す／おもてなし

ホテル演習で水割り作りに挑戦。折茂さん(左から2番目)に「お酒を入れすぎ」と注意されながらも、和やかな雰囲気で授業が進む



## 心を込めてサービスを

NIPPONおもてなし専門学校（前橋）

「氷は静かに入れて」。講師の指示を受け、慎重な手つきでグラスに氷を入れ、水割り作りに取り組む。周囲の生徒たちも、真剣な表情でメモを取っている。

留学生向けの教育機関、NIPPONおもてなし専門学校（前橋市、高山村）では、提携する群馬ロイヤルホテル（同市）の設備を活用した演習と座学で、日本のおもてなし文化を学ぶことができる。

同校は2013年に開校。ネパールやベトナム、インドネシアなどアジア圏を中心に生徒が集まり、2年間の学習を経て全国各地のホテルや旅館、飲食店などに卒立つ。日本語学校の教職員が留学生に勧めたい進学先を選ぶ「日本留学アワード」に4年連続で入賞している。

おもてなし学科のホテル・旅館国際コースでは、語学やビジネスマナー、茶道や着付けといった日本文化

の座学に加え、接客時のいさつやフロント業務、料理や飲み物の提供などについてホテル演習を行う。同校講師の折茂綾子さんは、「国によって生活スタイルや文化がばらばら。業務の意味や理由を丁寧に説明して、理解を促している」と話し、「お客様の立場に立つて考えることが笑顔につながる」と強調する。

同コース2年でミャンマー出身のミヤ・サンダトンさん（25）は、ホテルへの就職を希望している。「人と話すのが好き。お客様に喜んでもらえるよう、心を込めてサービスしたい」と目を輝かせる。

コロナ禍で就職□が減少している厳しい状況だが、折茂さんは「スタッフにとって、お客様の笑顔は明日の活力になる。学んだことを生かして満足のいくサービスを提供し、愛される人材になつてほしい」とエールを送る。